

アメリカ春期英語研修

システムデザイン学部機械システム工学科 2年 谷中 有樹

・研修先での授業・学習や寮などの生活の様子

私の受講したコースは、学校が指定するコースの一つ下のレベルのコースであったが講師の雰囲気がとてもよかった。講師が毎回、英語を喋れるようになるには授業のない時間でも英語を喋るべきでこの授業を取っている皆は英語を喋れるわけでないから勇気を持ってと言ってくれて、日本人同士でも英語を喋るくらいやる気を出させてくれた。

学修形態は、とにかく喋る事であった。英語の基本時制なども勉強したが、それを使った会話などをとにかくずっとやらされ喋ることの抵抗感を払拭させると同時にクラスのみみんなと仲良くなる機会を作ってくれた。

寮は、シェアハウス形態で共有スペースが一つとベッドの二つある部屋が二つあった。私ともう一人の首都大生が同じ部屋であって、もう一人が中国人のルームメイトであった。ルームメイトが外人であったおかげか、日本人同士でも他のルームメイトが分かるように英語で喋り、全員で料理を一緒に作っていた。男子だけなので料理できる人がいなく、主に肉を焼いて塩コショウをしていた。朝は毎日コンフレークを食べていた。



・課外活動

私のクラスはフィールドトリップというサンディエゴの町の歴史を学ぶ授業があり、リトルイタリーやダウンタウンなどに行くことができた。他にも学校が連れて行ってくれるユニバーサルスタジオや実費だけで参加できる Conversation cafe などに申し込み首都大生みんなと中国人の友達、現地の学生とも仲良くすることができた。



・自由時間の過ごし方

平日の自由時間は、寮の近辺や学校の近辺をクラスの友達と散歩することや、他のクラスの人や現地の学生とジムやコートを使ってスポーツをしていた。中でもビーチはすごくきれいなため何回も行った。

休日はダウンタウンに行って観光名所に行ったり、学校主催のイベントに参加したりした。

他にはまんべんなく課題が出たので、寝る前などに課題を終わらせて出た日になるべく終わらせていた。



・現地で学んだこと

今回の短期研修で学んだことは積極性の大切さです。私は一週間ごとに目標を立てていました。1週間目は自分の意見をもって怖くても喋ること、2週間目は相手の話をしっかり理解して話すこと。これらの目標はすごくレベルの高いもので、前回のカナダ夏期英語研修で学んだことを元に立てた目標です。個人の行動によって本当にこの研修の質は変わってきます。授業で一番最初に発言をし、授業時間外でも英語を話し、日本人同士でも英語を話し、Uberの人とも話してインスタを交換し、日本に帰ってWe Chatをダウンロードしました。中国の友達とは毎日会話をしています。この研修が終わる前に思ったのは、もっとこの場所にいたい気持ちと日本にいる友達に早く会いたいという気持ちでした。日本のいいところもたくさんあるし、海外のいいところもたくさんあるからだと思います。そう思えたのは僕が成長しているからだと思います。最後にルームメイトに恵まれ、クラスメイトに恵まれ、同じ大学の人に恵まれ、出会ったすべての人に恵まれました、本当に感謝を伝えたいです。英語学習は楽しんでできるようになると思います。

